

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	建築計画
科目基礎情報						
科目番号	0056		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	都市環境デザイン工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	前期「初めて学ぶ住居学」（学芸出版社）、前期後半から後期「図説やさしい建築計画」深水博著（学芸出版社）					
担当教員	高安 重一					
到達目標						
建築を設計する前段として、建物のコンセプトから所要室の規模・数、さらには詳細の考え方にいたるまで、さまざまな「計画」が必要となる。前期は身近な住空間を対象とし、後期は様々なビルディングタイプへと対象を広げ、計画のプロセスを学ぶ。家これからの建築計画に必要な考え方を理解し、設計に役立てることを目的とする						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
建築の「形」の背景にある要因や人間の知覚等、建築計画学の基礎知識を理解し説明できる。	標準的な到達レベルを前提として、設計提案や建築のあり方を論ずることが出来る。		建築計画学の基礎となる自然条件や人間の知覚と、建築形態との関係を理解し、説明できる。		建築計画学の基礎となる自然条件や人間の知覚等について、断片的であるが理解し、説明できる	
建築のコンセプトから所要室の規模・数量等、詳細の考え方で、計画手法を理解し説明できる。	標準的な到達レベルを前提として、建築のコンセプトや計画手法について総合的に関連付け、理解し説明できる。		建築のコンセプトや計画手法について、理解し説明できる。		建築のコンセプトや計画手法について、断片的であるが理解し、説明できる。	
計画手法の応用として、一連の流れである計画のプロセスについて理解し説明できる。	標準的な到達レベルを前提として、計画のプロセスについて総合的に関連付け、理解し説明できる。		計画のプロセスについて、理解し説明できる。		計画のプロセスについて、断片的であるが理解し、説明できる。	
建築生産における建築計画とは何か、その役割を理解し記述できる	標準的な到達レベルを前提として、建築生産における建築計画の役割について、設計提案と総合的に関連付け、理解し説明できる。		建築生産における建築計画の役割を理解し、説明できる。		建築生産における建築計画の役割を、断片的であるが理解し、説明できる。	
住宅からビルディングまでの様々な用途に必要な計画の考え方を整理し、建築の設計や評価に活用できる	標準的な到達レベルを前提として、優先順位をつけながら総合的な計画の提案に結びつけられる。		様々なビルディングタイプの設計において考慮すべき情報を理解し、説明できる。		様々なビルディングタイプの設計において考慮すべき情報を断片的であるが理解し、説明できる。	
学科の到達目標項目との関係						
本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 3 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 3-c						
教育方法等						
概要	建物を設計するに当たり、造形やデザインの能力が必要であるが、同時に数値化できる「計画能力」も要求される。本講義は建築技術者として必要な計画能力の基礎を養うと同時に、建物の形態に対する理解力を養う機会として位置づける。また、3年次において、学生の適正を判断する講座のひとつであると同時に、卒業後、建築士の資格取得に必要な重要講座でもある。					
授業の進め方・方法	本科目は授業形式で行う。講義の内容は、広範にわたる計画学の概要を紹介するもので、幅広い分野にわたる事象に対して興味をもつことが重要である。特に自然環境・歴史・社会学・心理学など人間の行動を読み解き、建築の形態に反映するための基礎学習として、建築の専門書以外に関連する上記分野の書物をできるだけ多く読むことを推奨する。この点について適宜レポート題を課す。中間テストは前後期とも実施する。また基本は予習であり、ノートは提出を義務づける。					
注意点	建築の技術面だけでなく、人間の根本的な行動や自然の原理にまで立ち返って理解するように努める。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、空間の魅力	建物や空間の形態が、どのように決定付けられるかについて、地理的環境・機能・構造・建築技術・安全性・美しさ・象徴性・法規などの観点から記述できる。		
		2週	住環境の概要	世界と日本の住まいの歴史と風土について、理解し概略を説明できる。		
		3週	安心な住まい	地震や火災などの住まいの危険について考え、その対処方法について説明できる。		
		4週	安心な住まい	防犯や維持管理についての理解深め、説明ができる。		
		5週	安心な住まい	事例を見ながら良い、悪いという判断を下すことができる。		
		6週	心地よい住まい	快適さの要因にはどのようなものがあるかを理解し、設計に活かすことができる。。		
		7週	心地よい住まい	住まいと健康の関連を理解し、説明する事ができる。		
		8週	心地よい住まい	事例を見ながら良い、悪いという判断を下すことができる。		
	2ndQ	9週	みんなの住まい	寸法やモジュールを理解し、設計に活かすことができる。		
		10週	みんなの住まい	ノーマライゼーションの概念を理解し、身のまわりの状況を考えて提案を行うことができる。		
		11週	みんなの住まい	事例を見ながら良い、悪いという判断を下すことができる。		
		12週	住まいをとりまく環境	まちづくりや公共空間、景観についての理解を深め、より良い街への提案をする事ができる。		

後期		13週	住まいをとりまく環境	都市の問題と地球規模の問題に目を向けて、これからのあり方について意見を述べることができる。
		14週	独立住宅の計画	諸機能のつながりや、独立住宅のタイプ分けが理解できる。
		15週	答案返却・解説	試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。
		16週		
	3rdQ	1週	建築計画の基本	基本的な用語と寸法体系について理解し、説明できる。
		2週	集合住宅の計画	集合住宅のタイプ分けとその特徴について理解し、近年の潮流も把握する。
		3週	小学校の計画	授業運営方式のタイプ分けや必要諸室を理解する。オープンスペースなどの近年の潮流も理解する。
		4週	幼稚園・保育所の計画	主要諸室のつながりを理解し、乳幼児の人体スケールについても把握する。
		5週	図書館の計画	主要諸室のつながりを理解し、書架の配置や秀造能力についても理解する。
		6週	美術館の計画	主要諸室のつながりを理解し、採光計画などの理解を深める。
		7週	劇場の計画	主要諸室のつながりを理解し、舞台形式の種類についても把握する。
		8週	事務所の計画	事務所建築に使われる用語を理解し、家具の配置などのパターンを理解する。
	4thQ	9週	ホテルの計画	必要諸室のゾーニングや機能的なつながりを理解する。客室ユニットについてもバリエーションを理解する。
		10週	病院・診療所の計画	病院の部門構成と機能のつながりを理解する。診療所の計画の要点を理解する。
		11週	商業建築の計画	飲食店の厨房面積や物販の売り場面積などの計画を理解する。カウンターや陳列棚などの寸法を把握する。
		12週	各種建築物の計画	その他のビルディングタイプの代表的なものの特徴を理解する。
		13週	高齢者・障がい者に配慮した建築計画	ノーマライゼーションの概念を理解し、各部の寸法などを把握する。
		14週	地球環境に配慮した建築計画	環境問題と建築の関連を理解し、これからの建築計画に役立てることができる。
		15週	答案返却・解説	試験において間違えた部分を理解出来る。
		16週		

評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度・ノート	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	0	10	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	20	0	10	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0